

道本部労災職業病部会第3回幹事会 新規認定目標の達成めざす 1～3月の「相談会」に111人

道本部労災職業病部会は4月20日に第3回幹事会を開き、1～3月の新規認定と「健康相談会」のとりくみについてまとめました。新規認定は43件（＝既報）で、「年間200件の新規認定」という部会総会で決定した目標との関係では、昨年7月からの合計で144件となっており、目標達成にむけたとりくみ強化を意思統一しました。各地の「相談会」は10地域・35会場でおこなわれ111人からの相談がありました。相談内容は、振動障害・36件、じん肺・16件、アスベスト疾患・10件、騒音性難聴・27件などで、これまでに29人が医療機関を受診しています。

また、トンネルじん肺根絶訴訟、新・北海道石炭じん肺訴訟（住石訴訟）、北海道建設アスベスト訴訟（第1陣・第2陣）の状況について報告されました。トンネルじん肺根絶第6陣訴訟は12月6日の提訴が決まり、現時点での道内の提訴対象者を確認しました。

釧路・佐藤訴訟 最高裁に署名提出へ

釧路支部が協力をお願いしていた「佐藤憲さんへの損害賠償事件」（精神障害の労災請求の報復として会社が不当な損害賠償を求めた事件）の公正判決を求める最高裁あての署名がこれまでに160団体4,811筆が寄せられ、4月23日に提出することが報告されました。

建交労フェスタを成功させよう

「文化の夕べ」で布施さんが「江差追分」

道本部労災職業病部会第3回幹事会では、2か月後に迫った「建交労フェスタ in 北海道」を成功させるとりくみについても議論しました。各組織が積極的な参加目標をもってとりくみをすすめており、美幌支部からは6人の参加申し込みがありました。

集会2日目の夜の「文化の夕べ」では、全国各地からお国自慢の出し物で交流することになっていますが、地元・北海道からは函館支部労災職業病分会の布施美治さんが「江差追分」を披露します。

雄武・紋別で「職業病・建退共相談会」

4月22日、西紋別支部は旭川支部からの応援を得て、雄武町と紋別市で「職業病・建退共相談会」を開きました。相談会には3人が来て、2人は「建退共」の相談で、1人は古いトイレや浴槽など水回り施設のハツリの仕事で働いていましたが退職後も手のしびれや痛みが続いているということで、受診にむけて職歴作成をすることにしました。